

読響ハートフルコンサート 栃木

～読売日本交響楽団のメンバーによる弦楽四重奏～



曲 目

- ♪モーツァルト
／アイネ・クライネ・ナハトムジークから第1楽章
- ♪エルガー／愛の挨拶
- ♪アイルランド民謡／ロンドンデリーの歌
- ♪作曲者 不詳／アメージング・グレース
- ♪サラ・ブライマン／Time to say goodbye
- ♪モンティ／チャルダッシュ
- ♪ディズニー映画「ピノキオ」から『星に願いを』
- ♪葉加瀬太郎／情熱大陸
- ♪川の流れるように

※曲目は変更する場合がございます。

出演メンバー



ヴァイオリン
赤池 瑞枝



ヴァイオリン
田村 博文



ヴィオラ
森口 恭子



チェロ
芝村 崇



ソプラノ(ゲスト)
北野 里沙

【公演日】2018年6月20日(水) 14:00～15:00
【会場】とちぎメディカルセンターしもつが 2階講堂

■公益財団法人「正力厚生会」(<http://shourikikouseikai.or.jp/>)とは■

「がん患者やその家族への支援」を事業の中心に据えている正力厚生会は、読売新聞東京本社からの寄付金などをもとに、「がん患者団体への助成」「医療機関への助成」などを行っています。患者団体への助成では、延べ240団体に助成金を交付し、さまざまな活動に役立ててもらっています。

■「読響ハートフルコンサート」■

正力厚生会は2007年度から、公益財団法人読売日本交響楽団と共同で、がん患者の生活の質(QOL)向上の一環として、全国のがん診療連携拠点病院などで、弦楽四重奏を楽しんでもらう「読響ハートフルコンサート」を開催しています。今回の開催は通算75回目です。コンサートの模様は、開催翌日付の読売新聞に掲載されるほか、正力厚生会の公式HPでもご覧いただけます。

■公益財団法人「読売日本交響楽団」プロフィール■

読売日本交響楽団は1962年、日本のクラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立されました。新聞社が母体のオーケストラは、世界に例がありません。世界的な指揮者、ソリストとの共演で、数々の名演を実現してきました。

現在、高円宮妃久子殿下を名誉顧問にお迎えし、東京・赤坂のサントリーホールでの定期演奏会など八つのシリーズを展開中です。知られざる作品から親しみやすい名曲まで、クラシック音楽の魅力を皆様にお届けしています。

このほか、社会貢献として公益財団法人「正力厚生会」のがん患者助成事業に協力する「読響ハートフルコンサート」や、小中学校での「フレンドシップ・コンサート」に取り組んでいます。地域の中規模ホールでのアンサンブル「サロン・コンサート」、アマチュアオーケストラへの支援活動など、音楽文化のすそ野拡大にも地道な努力を重ねております。詳しくは読響のホームページ <http://yomikyo.or.jp> をご覧ください。